



V G 4 0 0 a

## ローカルファームアップ手順書

詳細は、取扱説明書を参照願います。

---

本マニュアルに記載された内容は、将来予告なしに一部または全体を修正及び変更することがあります。

なお、本マニュアルにこのような不備がありましても、運用上の影響につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

本マニュアルの一部、あるいは全部について、許諾を得ずに無断で転載することを禁じます。  
(電子、機械、写真、磁気などを含むいかなる手段による複製を禁じます。)

記載している Web ブラウザなどの画面はイメージを説明したものです。実際の画面と相違している場合がありますので詳細は実機にてご確認ください。

また、機能向上のため Web ブラウザの画面は予告なく変更される場合があります。

Windows® Me は Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。

Windows®2000 は Microsoft® Windows® 2000 operating system の略です。

Windows®XP は Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。

Internet Explorer は、Microsoft® Internet Explorer の略です。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

その他、記載されている会社名および製品名は、各社の登録商標または商標またはサービスマークです。

本紙の本文中では®、TM マークは明記しておりません。

1. 準備
2. LANの接続
- 2.1 クライアントPCのネットワーク設定
3. ブラウザソフトの起動
4. ローカルファームウェア更新
- 4.1 ローカルファームウェア更新画面
- 4.2 更新用ファームウェア選択
- 4.3 ファームウェアの更新
- 4.4 再起動
- 4.5 更新確認

---

# 1 . 準備

接続に必要な以下のものを準備する。

- 本装置の取扱説明書
- パソコン  
次のOSを推奨： Windows 2000 Professional ( SP4 ) , Windows XP Home/  
Professional ( SP2 )  
ブラウザソフト： IE6.0 ( Windows XP Home/ Professional は SP2 以降、それ以  
外のOSは SP1 以降 ) がインストールされていること。
- LAN接続用LANケーブル

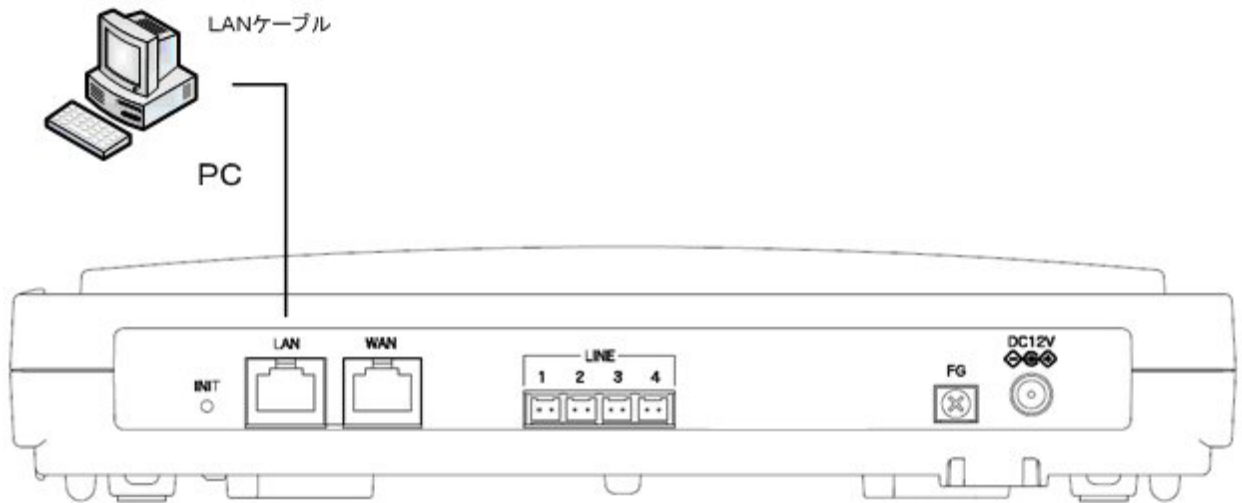
## 2 . LANの接続

本装置のLANインタフェース用コネクタとLAN側に接続されるHUBもしくはパソコンとの間をLANケーブルで接続する。

### 手順

LANケーブルをHUBもしくはPCと接続する。

本装置のLANインタフェース用コネクタにケーブルを接続する。



図は、VG400a 装置である。他 VG でも同様の接続を行う。

---

## 2.1 クライアントPCのネットワーク設定

L A N側に接続するクライアントPCのネットワーク設定を示す。設定例は本装置がD H C Pサーバとして機能する場合を示している。

W i n d o w s X Pのネットワーク設定を示す。W i n d o w s X Pは標準設定のカテゴリを表示する条件である。また、N I Cはパソコンに実装されているものとする。

N I Cについては使用する製品の取扱説明書を参照すること。

手順：

パソコンを起動する

- ・ パソコンの電源を入れてデスクトップを表示する

N I Cの設定を行う

N I Cの設定が完了しているときは に進む。

- ・ 「スタート」ボタンから「コントロールパネル」を開く。
- ・ 「コントロールパネル」の「プリンタとその他のハードウェア」を開く。
- ・ 関連項目の「ハードウェアの追加」をクリックする。
- ・ 「ハードウェアの追加ウィザードの開始」が表示されるので、画面の指示に従ってN I Cの設定を行う。

T C P / I Pをインストールする

T C P / I Pのインストールが完了しているときは に進む。

- ・ 「スタート」ボタンから「コントロールパネル」を開く。
- ・ 「コントロールパネル」の「ネットワークとインターネット接続」を開く。
- ・ 「ネットワーク接続」をクリックする。
- ・ 「ローカルエリア接続」のアイコンを右クリックして、「プロパティ」を選択する。
- ・ 「ローカルエリア接続のプロパティ」で「インターネットプロトコル(T C P / I P)」が用意されているかを確認する。用意されているときは、 に進む。
- ・ 「インストール」ボタンをクリックする。
- ・ 「ネットワークコンポーネントの種類を選択」で「プロトコル」を選択して、「追加」ボタンをクリックする。
- ・ 「ネットワークプロトコルの選択」で「インターネットプロトコル(T C P / I P)」を選択して「O K」ボタンをクリックする。

#### T C P / I Pを設定する

を参考にして「ローカルエリア接続のプロパティ」を開く。

- ・ 「インターネットプロトコル ( T C P / I P )」を選択して「プロパティ」ボタンをクリックする。
- ・ 「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択する。
- ・ 「詳細設定」ボタンをクリックして「T C P / I P詳細設定」を開く。
- ・ 「IPアドレス」に「DHCP有効」、「デフォルトゲートウェイ」が空欄になっていることを確認する。
- ・ 「OK」ボタンをクリックして、「T C P / I P詳細設定」を閉じる。
- ・ 「OK」ボタンをクリックして、「インターネットプロトコル ( T C P / I P )」のプロパティ」を閉じる。
- ・ 「閉じる」ボタンをクリックして、「ローカルエリア接続のプロパティ」を閉じる。

### 3 . ブラウザソフトの起動

本装置のローカルファームアップを行うためにブラウザソフトを用いる。

#### 手順

本装置と同一LANに接続されたPCでブラウザソフトを立ち上げる。  
本装置に設定されているIPアドレス(初期値は192.168.1.1)へアクセスする。

接続アドレス 【http://192.168.1.1/user】

ブラウザ認証のページが表示されるのでパスワードを入力する。

ユーザ用パスワード 【user】

- \* ユーザー名は入力しないこと。
  - \* 上記のパスワードは初期値である。
- 本装置のメインページが表示される。

電話設定メニュー - 電話詳細設定

回線に関する各種設定を行います。

---

電話詳細設定

デフォルト非通知発信	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
市外局番	<input type="text"/> 半角数字にて、6文字までで入力してください。

• 各設定項目において、データの登録/変更/削除を行った場合は、必ず「設定保存」をクリックして下さい。  
• 「設定保存」をクリックせずに再起動や電源OFFした場合、設定データは最後に保存された値になります。



## 4 . ローカルファームウェア更新

ファームウェアのファイルをパソコンに用意し、パソコンからの操作でファームウェアの更新を行う。

### 注意事項

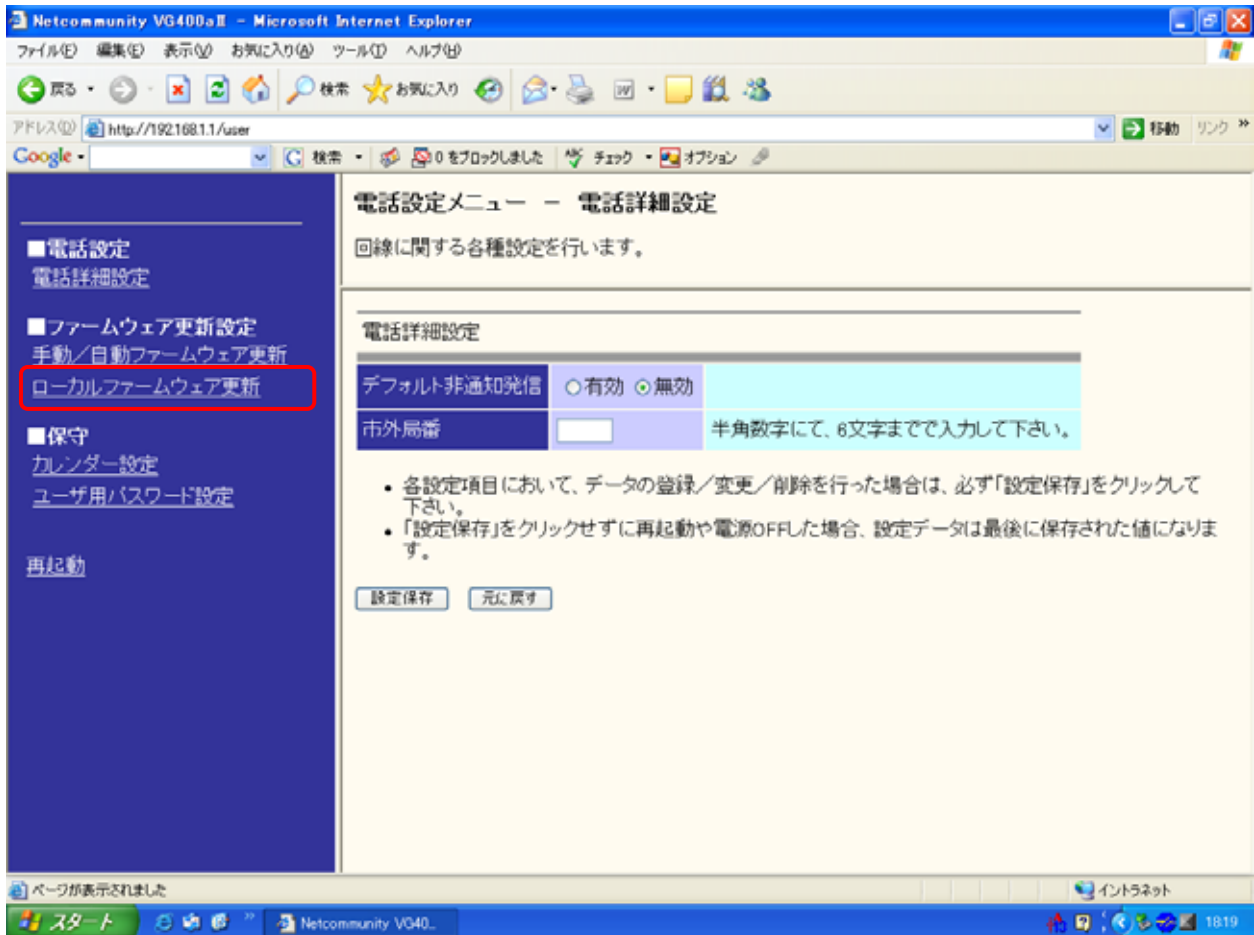
ブラウザソフトの「戻る」/「進む」は使用しないこと。

最新のファームウェアを入手する。ファームウェアを保存するパソコンには、約6MB程度の空き容量が必要である。

更新中に本装置の電源OFFや再起動は内部メモリの破壊を引き起こす危険性が非常に高いため禁止する。

## 4.1 ローカルファームウェア更新画面

メインページのメインメニューから「ローカルファームウェア更新」を選択し、ファームウェア更新画面が表示させる。



## 4.2 更新用ファームウェア選択

ファームウェアファイル名をドライブ名から入力するか、「参照」ボタンをクリックして、ダウンロードするファームウェアのファイルを選択する。

ファームウェア更新設定メニュー - ローカルファームウェア更新

ファームウェアの更新を行います。

「送信開始」をクリックするとパソコン上のファームウェアを本体に更新します。  
「参照」からファイルを指定し「送信開始」をクリックして下さい。

ファームウェアの更新が正常終了した場合は再起動して下さい。

C:¥rgw-apl3000.mot

参照...

送信開始

選択しているドライブ名及びダウンロードするファームウェアファイル名は一例を示す。

メインメニューの表示は上記画面から省略する。

---

## 4.3 ファームウェアの更新

「送信開始」ボタンをクリックすると更新が開始される。(約1分～2分程度)

本操作中も電話の利用は可能である。

ファームウェアの更新が正常修了すると更新結果画面が表示される。

ファームウェア更新設定メニュー - ローカルファームウェア更新

ファームウェアの更新を行います。

ファームウェア更新中

ファームウェアを更新しています。

ファームウェアの更新が終了しました。  
更新を有効にするには再起動を行ってください。

更新中に本装置の電源OFFや再起動は内部メモリの破壊を引き起こす危険性が非常に高いため行わないこと。

メインメニューの表示は上記画面から省略する。

## 4.4 再起動

メインメニューから「再起動」を選択すると再起動画面が表示される。  
更新したファームウェアを有効にするため、「OK」ボタンをクリックし次に「通話中の呼が切断されます。再起動しますか？」の確認に対して「はい」ボタンを選択して再起動を行う。



再起動は通話中の呼が無いことを確認し操作すること。  
**再起動中（1分間）は発着信が不可能になります。**  
メインメニューの表示は上記画面から省略する。

## 4.5 更新確認

再起動後に、メインページのメインメニューから「手動/自動ファームウェア更新」を選択、ファームウェアのバージョンが上がっていることを確認する。

### ファームウェア更新設定メニュー - 手動/自動ファームウェア更新

ファームウェア更新に関する設定を行います。

#### 手動ファームウェア更新

手動ファームウェア更新

手動更新

「手動更新」をクリックすると、ファームウェアの更新チェックを行い、最新のファームウェアがある場合はダウンロードを開始します。

#### 自動ファームウェア更新詳細設定

自動ファームウェア更新

有効  無効

現在時刻

2006年01月01日00:00

日時を設定するには「保守メニュー-カレンダー設定」にて実施してください。

自動更新時刻

03 時

設定範囲: 00~23  
自動更新を実施する時刻を半角数字で入力してください。  
最新のファームウェアがある場合、設定時刻から1時間以内に更新されます。

自動ファームウェア更新開始日

毎日  指定日  
年 月 日

西暦設定範囲: 2005~2099  
自動ファームウェアの更新を開始する日付を半角で入力してください。

現在のファームウェアバージョン

Ver 0.0.2.1

- 各設定項目において、データの登録/変更/削除を行った場合は、必ず「設定保存」をクリックして下さい。
- 「設定保存」をクリックせずに再起動や電源OFFした場合、設定データは最後に保存された値になります。
- 「設定保存」クリック後は、再起動を行うことにより、保存されたデータが有効になります。

設定保存

元に戻す

本画面のファームウェアバージョンは、一例を示す。  
メインメニューの表示は上記画面から省略する。